

# 「清水勇人市長と語る」タウンミーティング【見沼区】

## 〈開催概要〉

日 時：令和5年7月22日（土） 9:30～11:00

会 場：見沼区役所 2階 大会議室

参 加 者：15名（傍聴者2名）

市出席者：市長、脱炭素社会推進課

事 務 局：市長公室秘書広報部広聴課

開催テーマ：地球温暖化対策について考えよう ～みんなでアクション とともに未来へ～

### 参加者との意見交換

#### ●参加者

##### <発言1>

話があまりにもローカルなのでわかりづらいかと思い、お手元に写真を配付しました。県道65号線に沿って見ていただきたいのですが、この真ん中から左の方に65号線があって、上の方に七里公民館があります。それからテニスコートが下にあり、この東部清掃の車両基地、これはもう移転ということで必要なくなるので、地域でもどういう施設にすべきかという話もでています。七里公民館も、老朽化で建替えという状況みたいです。

そこで、極めてローカルな話ですが、市長から喫緊の課題だという温暖化対策の内容をお聞きし、本当に市は頑張っていることに改めて敬意を表したいと思います。問題は、具体的に事業を進めなければならないので、地域のカーボンニュートラルの具体的な提案をしたいです。もう既に計画が進んでいるかもしれませんが、この清掃事務所の移転後の開発とか、教育委員会の公民館の老朽化に関する対応がばらばらに計画されると、無駄が生じるので、テニスコートや周辺民間施設の駐車場を含めて一体として整備することで、建設資材などの無駄をなくすことができると思います。市長からお話のあった太陽光発電や蓄電池、雨水の循環や緑の投資とか、その地域のエリアのカーボンニュートラルを実現してはいかがでしょうか。

この施設を若者主体の施設にして、デジタル的な自然や歴史を、恐竜からウクライナまででもよいのですが、そういったものを見られるようにしたり、小さな舞台を設置して、ダンスやシンセサイザーなどができるようにしたり、若い子育て世代の方々が集える空間にします。そうすることで、将来を担う若い人にこうした大事な地球環境問題を学んでいただきたいなと思って、この施設の一体化を提案いたします。

##### <発言2>

今から8年前に自宅に太陽光発電設備を設置しました。当時、国と県と市からの補助金がありました。屋根の手入れをした上での太陽光パネル設置でしたので、およそ300万円の工事費でした。補助額は国と県と市の合計で工事費の2%に満たなく、その後、太陽光パネル設置件数は伸びませんでした。白熱灯や蛍光灯をLEDに変えた上で、ガラス戸を二重ガラスにしました。結露は全くなく、我が家の光熱費は下がりました。家の周りには樹木を植栽して、二酸化炭素の吸収量を補っています。これは全て行政の指導に従いまし

た。追随する家庭は少なかったのですが、我が家はいつも省エネに前向きに取り組んでいます。今年などは太陽光が大いに稼いでくれています。

クールチョイスの1つ、エコカーを買う。ガソリン車の3倍の価格という電気自動車が国55万円、県27万5,000円の補助金では少な過ぎるように思います。これでは小池都知事の2030年までに都内で販売される新車全てを電気自動車に切り替えるとの発表は実現しないと考えます。

また、電気自動車の製造過程では、ガソリン車に比べて約2倍の二酸化炭素を排出するというトヨタ前社長の、水を差すようなコメントが気になります。現在掲げている地球温暖化対策では、2050年のゼロカーボンシティを目指すことは容易ではないため、別の分野での取組を御提案申し上げます。

新幹線による荷物輸送サービスを「はこビュン」と言うそうです。荷主が新幹線の出発駅まで荷物を運び込み、到着駅で納品先や販売店舗が受け取ります。実際に新幹線の中でその荷物を見たことがあります。現在はJR東日本ですが、これを全国的に展開します。宅配業者で集荷した荷物を新幹線駅に運び込み、到着駅で宅配トラックが受け取り、各家庭に届けるというやり方です。貨物自動車の二酸化炭素排出量は7,400万トン、ちなみに自家用車の二酸化炭素排出量は8,200万トンです。これが新幹線を利用することによって二酸化炭素排出量が大きく減ると思われます。鉄道のまち、さいたま市からの提案としてふさわしいと考えます。

### < 発言 3 >

取り組んで欲しい分野でお話ししたいと思います。特に私、車を運転しているわけではないのですが、通勤通学の時間に、大宮駅から越谷市へ向かう道路がすごく狭くて、結局バスも遅れがちになります。それで、ある方がこういう方法もあるのではないかと仰うのです。例えば大宮区に住んでいる方は、駅まで自転車とか、そういう方法もあるのではないかと。結局道路が混んで、狭いものですから、遅れがちになってしまう。それはバス自体もいわゆる本通りしか通ってないので、それで特に気になるのは、大宮駅からのさいたま市立病院、あそこへ行くバスが全然ないのです。北浦和からしかない。この間もけがした人が救急車に乗って市立病院へ行ったようです。車が混むのは、結局道路が狭いから。ガソリン代とか結構かかるわけですから、この辺をもう少し見直していただければ。

また、これも、ある人からの意見なのですが、例えばバスの駐車場の脇に駐輪場をつくらうでしょうか。そうすれば自家用車ではなく、バスを利用する人が増えるのではないかと、という話もありました。この辺の身近な現実を、確かに市長が言われた地球温暖化の問題は市としては大きい問題だとは思いますが、市民一人ひとりを見ると、もう少し、自家用車以外で駅に楽に行けるようになるか、ということを考えるのがよいと思います。

特にさっきも言ったように、越谷へ行く道路は狭くて歩道もついてないし、結局自転車で行ったとしても、例えば南中野という交差点があるのですが、そこから自転車で行っても少し遠い。大宮区の人だったらまだ自転車でもそちらの方へ行けるので、車が減ることでバスももう少し楽になる。こういうもっと身近なところで償却できる部分があるのだと思うのです。だから、その辺を考えていただきたいなと思います。

### < 発言 4 >

この言い方では皆さん納得されないかもしれませんが、今現在市長と、先ほどの話の中でもいろいろなことを家庭で案を出してやろうとしていますよね。これが実は2050年だったら今から27年後ですね。この27年でやっていけるのかなど。ゼロにできるかどうか、どうも僕は心配なのです。だから、それを各家庭で、個人で今やろうとすることをもっとその気持ちにさせるには、もっと宣伝を大きくしないといけないと思います。

それでも全く足りないだろうから、例えばど素人の僕の考えなのですが、電気代が100

ワットとしますね。これが8月1日から80ワットに下がりますよというようなことができないでしょうか。その方法はさておいて、電力80%減らしますよと言っても、病院や工場は、そんなことはできないでしょう。いろいろなことを考えても、平均して90%ぐらいになるような方法をこの電力、水力、火力、そういう分野で専門業者と一緒に検討してもらって、一般消費者からの考えはいろいろと考えないといけません。それは20年、30年、もっと先までもやらないといけません、それだけだと達成がなかなか難しいだろうと思います。

僕も年寄りなのですが、終戦後に電気というのは30ワット、50ワットでした。今は100ワットが当たり前になっています。もっともっと多いです。だから、少し生活を下げても、何の不自由もないと思うのです。だけど、これに慣れ切っているから、そういうことを努力してやれと言ってもなかなかできないから、逆に自動的に減らす方法、例えば、水道の蛇口開けたら、今までの水力の80%しか出ないと。別にそれでも家庭で問題ないことが自然に慢性化されて、普通になるということもあると思います。そういうことで、そういう意味から別の分野からどういうふうにやったらよいのかということをよく検討していただきたいなと思います。

### <発言5>

さいたま市の地球温暖化対策、このゼロカーボンシティ宣言は素晴らしいことだと思います。ただ、二酸化炭素実質ゼロを2050年までにというのは少し悠長な設定かという気はします。脱炭素社会に向けたアクションプランは、もっと前倒していった方がよろしいかと思います。昨今の気候異常の発生対策もこれは兼ねると思いますので、早急にやっていくのがいい。それに対しては、市民に対する啓蒙啓発にもっと予算、人員を割くべきだと思います。

それから、2番目、今後重点的に取り組んでほしい分野なのですが、3つありまして、電気を増産する。これは火力、原子力以外の太陽光、先ほどの方が太陽光発電設備とおっしゃっていましたが、それ以外の風力、水力、火力、再生可能エネルギーに対する優遇と研究、それから市としての積極利用です。あと起業家に対する補助の検討等々も考えられると思います。それから、電気の使用を減ずる。これは必要不可欠な使用以外の無駄な電力削減がメインなのですが、思い起こしていただきたいのは、東日本大震災時の電力使用削減のやり方で、要は夜の無駄なネオンの使用を禁止することです。それから、必要以上の冷暖房の削減をする。それから、電化製品の低電力製品やLED等の利用促進、これらをもっと啓蒙を進めて、もう一度思い返していただきたいと思います。理想としては昭和時代程度の電力総使用量に回帰させることが必要なのではないかと思います。それが手っ取り早い二酸化炭素削減につながると思います。これは人口減とのリンクがあります。人口が減れば電力使用量が減るはずということです。

それから、3つ目として埼玉県、環境省との連携が必要になると思います。SDGsのパートナー宣言や、エコライフDAY埼玉との連携とか、Fun to Shareへの参加の連携、これらもさいたま市として検討していただければよろしいかなと思います。

それから、3番、身近に始める地球温暖化対策。我々が考えるのは、昔の知恵で、打ち水なんて昔やっていました。これが少し気温を下げるとか、それから、無駄な電力削減について自分たちで啓蒙、啓発、検証、宣言の積極的発信をするところが必要になってくるかと思います。

### <発言6>

今回はこういう場を設けていただき、ありがとうございます。私、会社員として今まで勤めていて、1現役として、かつ市民としてお話をしたいと思います。

まず、私たち企業人もそうなので、これは前向きな意味で捉えていただきたいのですが、本当に実現できるのかをすごく考えながら、我々企業もゼロカーボンに取り組み始めてい

ます。もちろん全てが今回のような原因で温暖化になっているかとか、いろいろな議論もあると思っていて、ただ、ゼロカーボンに取り組むことは間違いなく意味があるのでやりますということだと思います。

さいたま市は緊急事態宣言を出されて、市民としてメッセージは非常に伝わりました。先ほども出ていましたが、これは1個人の考え、思いなのですが、私自身はなるべくFacebook（フェイスブック）、Twitter（ツイッター）、Instagram（インスタグラム）、ホームページも、時間がそんなにないのですが、一応さいたま市の発信を見るようにしています。その中で先ほどもありました、この温暖化対策についてさいたま市が何をやっているのかなとか、もちろんこれは市民の目線なのですが、あとは、実際やってどういう結果だったのかなと。これは何が改善したかというのは非常に難しい多分世界だとは我々も思って企業事務をやっているのですが、ただ、市なり国なりの意義って、多分そういうところもあるのではないかなと思います。

もちろん市民全員がいろいろな活動をするように広報していくことも大事だと思いますし、ただ、これだけ気候変動が起きているから、結構市民とか、もちろん子どもたちもSDGsも勉強をめちゃくちゃしていますから、大分いろいろなことを気にする人たちは出ていると私は思っています。だから、そこが重要と考えます。

あと今後取り組んでほしいというところは、これも前回もお話して、若干話がそれるのですが、新庁舎移転はさいたま市にとって、市民にとってもすごくよいタイミングでして、最近のどこの市の新しい庁舎を見ても、新しいのですが役所という感じなのですよね。であれば、この温暖化の何かシンボルとして、今まで役所がやってないような案で、まだ私もわからないのですが、是非そういうところも知恵を絞ってやっていただけると、もっとよいまちになるのではないかなと思います。

#### < 発言 7 >

いただいた資料を読みましたのですが、ゼロカーボンとか省エネなども大切なのですが、いかに今ある緑、木々を残して温室効果ガスを吸収し、酸素をつくってくれる本当に貴重な緑なのです。それをいかに生かしてまちづくりをするかという視点がなくて、それが私には残念だなと思います。8ページの右下の「2、市民の安全・安心な暮らしと本市の豊かな自然環境を未来へ継承するため、自然災害や猛暑への対策など」ということで、とにかく今残されている緑を次の世代に継承していかなければいけないというのが私たちの世代の責務だと思います。その点で市長、それから、さいたま市はどんな政策を考えていらっしゃるかは是非お伺いしたいと思います。

それで、今本当に屋敷林や林がどんどん少なくなっています。それはもう個人に任せるのではなく、ある程度さいたま市とか行政が指導ではないのですが、お願いでも何でもいいですから、とにかく働きかけて、そういうものを少しでも残してまちづくりに生かしていくように動いていただきたいと思います。

具体的に言いますと、七里駅の北側の区画整理で、あそこにもものすごく大きな森があったのですが、市長も覚えていらっしゃると思いますが、1本残らず切ってしまうと、そしてそこに4つも公園をつくると言っています。そうしたら、最初に大きな木を公園の計画地に1本でも残すなどした方がよかった。そういう何か最初の出発点があまりにも間違っていたのではないかと私は個人的に思います。ビルの日陰と、木陰の涼しさとは全く違います。ですから、木を残していくことでエアコンの使用を抑えられますし、昔はもうそれで皆エアコンなしでしのいでいました。今回のタウンミーティングで市長にお会いできましたので、七里の桜についても是非お答えいただきたい。前回のミーティングで別の機会にお答えいたしますと、七里の桜についてお約束いただきましたので、是非機会をつくっていただきたいと思います。

#### < 発言 8 >

森、林の保存を御検討いただきたいという内容です。今、七里の話が出ましたが、近年いろいろなところで多分、市長の最初の話で転入率ナンバーワンという話もあり、宅地が多分必要になってきているのかなとは思いますが、ここ1年ですと日本大学の北東部の森林が消えました。それと、自治医大北側となる、芝川新橋の付近なのですが、その斜面にあった森林が全部なくなりました。

ということで、もともと13年度ベースで考えている削減なのですが、そのベースが覆るようなことになっていくかなと考えています。もともとヒートアイランド現象がありますが、そういうところで、あと見沼たんぼをあわせて森林と一緒に、総合力でさいたま市は比較的住みやすいと考えています。私有地など問題はいろいろあるのだと思うのですが、この辺を保護していかないと、最終的にカーボンニュートラルのベース値が狂ってしまいます。あと効果的に言えば、先ほどおっしゃっていましたが、森林の近くは涼しい。そうすると、エアコンの使用率も減る。プラス見沼たんぼから涼しい風がやってくるのが見沼区の特権なので、ここが崩れてしまってきたかなと考えています。新設の施設を建てて、もちろんもっと削減しろというのはあるのですが、緑地保護をして、もともとのベースのところはキープすることも御配慮いただきたいなという御提案です。

### <発言9>

少し前の方からお話がありました七里の桜を守る会の事務局をやっています。今お話があったように、見沼たんぼは、日本一の桜回廊ということで、今年のパフレットを見まして、それで、20キロにわたって2,000本の桜があります。その玄関口の七里駅の桜が欲しいということで、SDGsの話もして訴えてきました。これまで80数回の話合いと、それから駅とスーパー前の宣伝などをやって、9,200を超える署名を集めてきました。是非1回私たちと話し合う機会を持っていただきたいです。

それで、サポーターの会が本日の午後あるので、出てこようと思っています。このSDGsの関係では非常に賛成です。ですが、今政府のやり方、私は福島出身なものですから、原発事故以降未だに3万人近くの方が戻れないでいる環境汚染が大きな問題になっていますが、原発推進ではなくて、このゼロカーボンの方向に向かって是非さいたま市も率先してやってもらいたいです。

先日、6月4日、5日に広島で私どもの物流関係のセミナーをやりました。そこで、寺島実郎さんと呼んで、話を伺いました。かつて日本は世界第2位の経済大国で、世界のGDPにおける日本の割合は18%ぐらいありました。今は4%台です。こういう状況の中で、軍事費を43兆円も増やすのではなくて、コロナで問題が起きてきたような医療と、防災産業について力を入れるべきでないかという話を聞いてきました。まさにそのとおりだと思います。

昨年も申し上げましたが、さいたま市は住んでよかったという状況であると思うのです。見沼たんぼが、緑の田園都市だということを申し上げたつもりですが、是非さいたま市としてそういうよいところを残していくような形で取り組んでいただきたいなと思っています。

### <発言10>

今回の資料を読み、私なんか物理的な力で変える力はないのですが、できれば精神面で何かできないかなと考えています。

資料を見させていただきまして、解決策は自分なりに1つぐらいあるので、少し申し上げますが、12ページのさいたま市の取組のところの公・民・学それぞれが主体となって、グリーン成長モデルの実現というのがあります。どうも私なんか年取っていて、戦争に遭ったものですから、公という字が出てくると思うのです。まず待てよということなのです。戦争中、小学校時代に神風だ、台風だと言って先生に殴られた経験があります。そして、僅か1か月ぐらいで戦争が終わったら、今の先生ががらっと変わる。そういう中で私

も90になりました。

この中の私は公・民・学というのがあって、例えば民・公・学ではいけないのかなど。市民がもとなったら、民を最初に出して、公が助けていく。僕は昭和20年、小学校5年生だったから、そういう考えが残っているのです。

それからあと1点、質問なのですが、その12ページの一番下のところの再エネメニューの新設PVって何ですか。そのほかのことについてはさっき説明したのですが、PVというのは何のことなのか、それを教えてください。後ほど解決策について自分の考えは述べさせていただきます。

## ◆市長

### >>発言1

まず、かなり具体的な提案で七里公民館、またテニスコートのところをカーボンニュートラルのシンボリックな施設にしてはどうかというような御提案をいただきまして、ありがとうございます。また、若者の拠点にすることで、あわせて集まってくれた若い人たちにカーボンニュートラルの必要性や、そういったことを知っていただく機会にしてはどうかという御提案をいただきました。

今の公民館は老朽化していますが、更新をしながら、現状としてはまだ活用しているところですが、いずれにしても、これからこういった公的な施設を整備するに当たっても、脱炭素化を必ず意識して整備や改修をしていく、更新をしていくことを念頭に置いていく必要があると思いますし、その際、できるだけ若い皆さんにもそういった知っていただく機会をつくることについてはしっかり考えていかななくてはいけないとは考えています。

### >>発言2

御自身で非常に積極的にカーボンニュートラル、ゼロカーボンに向けていろいろ積極的に取り組んでこられていくと。本当に心から感謝と敬意を表したいと思います。その中で、御自身の体験からいろいろなお話をいただきました。

その中で、特に新幹線物流のお話を最後にしていただきましたが、さいたま市も実を言うと、この新幹線物流は非常に注目をしています。JR東日本と何回か一緒にこれを取り組ませていただきました。というのは、さいたま市は東日本のまさに玄関口にあるということで、新幹線でつながっている、今28の自治体と連携をして、いろいろおいしいものが食べられたり、いいものを買えたりというだけではなくて、SDGsについても連携の協定を結ばせていただきました。

そして、今2024年問題と言われていたようですが、運送業界の働き方改革の中で要するに働き手を確保するのが非常に難しくなるというお話もあります。目を転じ、視点を変えますと、まさに脱炭素化という視点から言っても、新幹線物流や、鉄道を使った物流に少しシフトをしていかざるを得ないのだろう。またしていかねばならないのだろうと考えています。

新幹線物流については、多少通常の貨物よりは少しお高くなると思うので、少し付加価値の高いものにはなるのだろうと思いますが、私たちもこれから札幌まで延伸をされる、また、北陸についても来年の3月には更に北陸新幹線も福井まで延伸をすることになっていきますので、そういった中でこの新幹線物流は大変大きな、また重要な事業だろうと考えています。先般も気仙沼が今日本一の漁獲高を持っている港ということで、朝取れたカツオを新幹線に乗せて、そしてまるまる東日本という今場所をさいたま市はつくって、東日本を応援する意味も含めてやっているのですが、そこで販売をさせていただいて、あっという間に売れるというような状況もありました。そういったことも含めて、私たちもしっかり取り組んでいきたいと思っております。

### >> 発言 3

バスのみならず、自転車の活用という御提案をいただいたところです。さいたま市も今回あまりお知らせというか、この説明原稿にはなかったのですが、移動手段で排出する二酸化炭素排出量が他の都市と比べて少し高いところがあります。その中で、自家用自動車での移動よりもできるだけ公共交通を使っていただく。また、公共交通でない場合も、例えば自転車や、違う手段で移動できるようなことをしていきたいと思います。

あわせて、高齢化の時代になりますので、かつ移動しやすい環境をつくりたいということで、今様々な取組をしております。特に自転車のシェアリングについては、今民間と協力して40か所近い場所で行っています。これは電動アシスト付きの自転車で、コンビニで借りていただきますと、違うコンビニでも乗り捨てができるというタイプのものですが、あわせて、スクーターや電気自動車の実用をやっているとして、マルチモビリティシェアリングと言っていますが、できるだけ公共交通で移動していただいて、ラストワンマイルと言われる最後の500メートル、600メートル、要するに近い距離については身近な交通手段、もちろん歩いていただくのが一番よいのですが、そういった手段を使っていただきながら、移動してもらう仕組みをつくろうということで、今いろいろな取組をさせていただいているところです。特に交通手段、電気自動車のお話も出ました。また、自動車そのものの話も出ましたが、そういったことは非常に重要だと考えています。今後ともしっかり進めていきたいと思っています。

### >> 発言 4

まず各家庭にしっかりと広報をしていくことが必要ではないかというお話と、あとは電力自体をもう少し仕組みとして減らすやり方をしてはどうかというお話をいただいたと思っています。各個人、家庭の役割はすごく大きいと思っています。小さな努力で大きな効果が上げられると思っています。その中で、まだまださいたま市が取り組んでいることや、取り組まなければいけないことについて十分に個人に、また各御家庭に自分のことのように考えていただけるための広報が必ずしも行き渡ってないことについてはすごく実感としても思っています、これは更に充実を図っていきたいと思っています。

また、全体の仕組みとして減らしていくことについても、これもいろいろな生活や経済にも影響が出る可能性もあるのですが、これは例えば省エネ機器や照明のお話、先ほど少し出しましたが、照明についても蛍光灯ではなく、LED化をするだけで6割、7割と大幅に電力が減って、しかも照量がほとんど落ちなくて、むしろ明るくなるという技術開発も出てきています。私たちとしてはそういった仕組みで抑えていくこともありますし、そういった技術開発によって実行される部分についても注目をしながら進めていきたいと思っています。

今、さいたま市ではいろいろな事業者に向けましてLED化であるとか、結構企業の中で電力を使うことがかなり支出の中で大きいのですね。あと大きな冷蔵庫を使っていたりします。そういったものを、省エネ化してもらうための補助制度などを設けていまして、もう2回にわたって既にやりました。これはもう人気があってあつという間になくなってしまふ補助なのですが、また更に追加補正についても今検討しているところですが、仕組みとして減らしていく。それから、技術開発によって更に減らすための取組をしていく。こういったことをあわせてやっていくことが必要だと思っています。

### >> 発言 5

2050年まででは遅いのではないか。もっとスピードアップをすべきだというお話をいただきました。私たちもできるだけスピードアップをしていきたいとは思っていますが、もう一つ、特に政令指定都市の場合は非常にエネルギーの消費量が多いのが1つの課題になっていて、さいたま市の努力だけではゼロカーボンシティに実を言うとなりにくい。なる



のが非常に難しい環境があります。

その中で、先ほど言いました東日本連携でSDGsの協定を結ばせていただいたりもしていますので、地方の力も借りながら、地方にある再生可能エネルギーを活用させていただいたり、森林というものの要するに二酸化炭素排出の分も活用させていただいたりということもあわせてやりながら詰めていく必要があると考えています。

全体として昭和程度に戻す形が最も望ましいと。いろいろな知恵を出し、使わない工夫をもっともっとすべきだというお話がありました。まさにそれはそのとおりだと思います。東日本大震災の時に定期的な停電もありました。私たちも照明、エアコン含めて電力消費の削減を市を挙げて今もやっていますが、そういったことにも取り組んできました。そういった意識を常に持ち続けていくことがすごく重要なことだと思います。

あと、県の取組、国の取組にも私たちは参加させていただいていますし、市としても市独自にSDGs企業認証制度を設けていまして、これは認証するという制度で、届出をして、登録制度ではなくて、認証することで結構価値が高いと言われていまして、これは日本には2つぐらいの自治体しか実施していません。そういったことがあって、今200近い企業が参加をさせていただいているところです。こういったことも含めて市民、事業者、そして行政も含めて一緒に頑張っていきたいと思っています。

## >> 発言 6

本当に実現できるのかという視点からも、しっかり取り組む必要があるというお話をいただきました。

例えば2030年までに50%とか、2050年にゼロというのは決してハードルが低い目標ではなくて、非常に高いハードルであるのを今計画をつくるに当たって、どの部分をどのぐらい減らしていくかを積み上げていくと、私たちも実感しています。ですので、相当頑張らないとなかなか達成することができないと思っています。そういった意味で多くの人たちを巻き込むためにSNSを含めて、さいたま市の取組や、それによってどう改善ができたかを見える化をするという御提案をいただいたと思いますが、そこは非常に重要だと思います。

今、日本全体ということではわかるのですが、それが県ぐらいまではわかるのですが、市町村になると実を言うと電力の販売等がいろいろ多様化したものですから、実を言うとはっきりわからない現状があります。今国に対してもどう数値を統一的に、これを行ったことによってどうなったのかということが、私たちも政策をつくっている中で、その結果の検証をしたいので、それを導き出せるものはないかということのを要望しているところです。現在は、非常に大きなデータの中から人口だとか産業の割合等から算出していく手法でやっているのですが、必ずしも正確なものとも言えない中でやっている状況ですが、この見える化をすることもすごく重要だと思います。その中で、市庁舎移転もシンボリックな施設としてという御提案がありました。私たちもそう努めていきたいと思っています。

## >> 発言 7

吸収をする緑という視点からお話をいただきました。緑の保全ということについて、私たちも非常に重要だと思っています。温室効果ガスを吸収する方にも力を入れないと、カーボンニュートラルを実現することは非常に難しいことだと認識しています。

これまでもさいたま市も緑の計画などをつくって、例えば事業者の方々に対しても開発をした場合に、一定の緑を創出してくださいとか、いろいろな計画をつくりながら進めてきていますが、ここの部分についてももしっかり見直しをしながら、二酸化炭素を吸収することの大切さもあわせてやらないといけないと感じているところですし、おっしゃるとおりだと思います。私たちとしては、また、あわせてポストコロナ時代の中で、この緑の大切さ、私たちが豊かに暮らしていくためにもこの緑の存在はすごく大きいことだと思います。



また、もう一方で、区画整理のお話も出ました。さいたま市も非常に人口が増えているために、森だった場所が住宅に変わっていく状況が生まれているのもまた事実ですので、これから私たちもどのようにまちづくりと自然環境を守っていくことを並立させていくのか。特にさいたま市はまだまだ、見沼たんぼをはじめとする自然が残っている場所だと思っていますので、そこを守りながら、また新たに創造することが必要だと思っています。

#### >> 発言 7・8・9

また見沼の桜の問題もあります。こういったこともしっかり保存をしながらやっていかなければならないと感じているところです。その辺については複数の方々からそういった御指摘をいただきました。非常に重要であると思っています。

#### >> 発言10

公・民・学、公が先に出るのはどうだという御指摘でありました。おっしゃるとおり、私たちもちろん一緒にやるわけですが、ただ、市民の皆さんや事業者の皆さんが積極的にやっていただくことが何よりも非常に重要だと思っています。それを支えていく、応援をしていく。そういう役割ではないかという御指摘だったと思います。私たちもそういう思いで、そのためには広報をしっかりとやっていくとか、啓発をしていくとか、また応援をしていくための補助なども含めて、その仕組みについてもしっかりと拡充していくことが非常に必要だと思っていますので、その辺についてもしっかりとやらせていただきたいと思っています。

それから御質問のPVについて、これはいわゆる太陽光発電のことです。わかりづらくて申し訳ありません。なるべくわかりやすい表現でお知らせをしていきたいと思っています。失礼しました。

### ●参加者

#### < 発言11 >

こちらに来るときにも途中でガスの埋設工事をやっています、私の提案は、まず上下水道及びガス等を含めて、工事を集約して、工事の数を減らすことでディーゼルエンジンだとか、ガスの排出量も減らしていったらどうかということです。そのためにはまず近年言われることで、水道の管が老朽化して事故が起きていることで、延長が長いので、これからずっとそれが続くのではないかとされています。

そういう意味で、市の水道管について長期計画を立てて、まず当面は1年先の計画を立てる。それを上下水道、要するに市としてやる部分と、あとガス管等、それから場所によっては電気や通信、そういうものも含めた協議会のようなものをつくって、共同溝をつくる。それを1回埋設することで次の工事はマンホールを使うだけで掘り返さないでもできるような構造にすることで、できれば100年に1回しか掘り返さないことで、住みやすいさいたま市というのが1つのアピールポイントになり、更に社会的にも、国内でも有数の住みやすい市という形になるのではないかと思います。そこら辺は協議会の中で形だとか、重量だとか負担金の分担とかも含めて検討していただいてやることで、長期計画でありながら、かつ経済的な、かつSDGsに合致するような施策になるのではないかとというのが私の意見です。

#### < 発言12 >

私は、さいたま市の地球温暖化対策について意見を述べたいと思います。

事前配付資料ですが、その他の資料を見た限りなのですが、さいたま市には数多くの施策があることがわかりました。しかし、その中でもどれがさいたま市の特徴を生かした上

で設定した施策なのかがわかりません。さいたま市の温暖化対策といえばまさにこれだというのを1つ、2つ決めて、それを明確にして、広く内外にアピールしていただきたいなと思います。

例えばですが、私でしたら、他の資料を見た限り、さいたま市で一番の二酸化炭素の排出要因は業務部門の電力でした。なので、私は民間企業にいますので、民間ならリソースに限りがありますので、そこを一番にやります。もうほとんどそこに集中して施策を打ちます。その施策の例なのですが、1つ少し地味なのは、これは環境負荷低減計画の制度を強化してほしいなと思います。報告書を見たのですが、提出している事業所が100か所程度で非常に少なく、それは13年間ですかね、ずっと横ばいの状態でした。計画達成率も半分、今後排出計画も大体横ばいで、ぱっと見、少しマンネリしているのではないかという印象だったので、それをアップデートしてほしいと思います。その計画を提出する事業者の範囲を拡大したり、その計画作成に加入をもっとしてもらったり、厳しい基準を設けるとか、あと達成できない場合はペナルティーを科すとか、そういった行政ならではの行動をしてほしいなと思います。

あと、2つ目は少し目立つような策ですが、先ほども促進とおっしゃったのですが、ちょっと定義を拡大して、多少極端な話題先行するような策をやってほしいなと。例えば夜間営業禁止ですとか、法定外税の導入とか、再生エネルギーの強制導入とか、話題性のあるのを特区に限ってやっていただけたらなと思っています。

#### <発言13>

先ほどの緑の件なのですが、私も本当に大切なことだと思います。市長もやんわりと言われていたのですが、緑を保全することはとても大切だとは思いますが、具体的に駅前プラスとかいろいろな中で、意見にも出ていたように、特定の残すべきものもあるとは思いますが、この緑というのは、我々の地域は原生林ではなくて、皆そこの人たちが育ててきたものです。ですから、何でも緑は残せばよいというものではなくて、トータルとしての開発をそこで止める必要はなくて、ただ、それは市長の言うように、代替する緑や、そういったものは必要だと思うのですが、最近特定の地域のシンボルとして残すというものを否定するものではないのですが、それがゆえに何か今の緑を削ることが悪だという考えは違うのではないかなと思います。今の緑は全て我々の過去の先輩方が育ててきてくれたもの。生命のあるものはいつか枯れるわけです。それは自然の摂理なので、ただそれを途中で止めたのなら、新しい命をそこにつくり出すのは私たちの役目ではないかと思えます。

あと、先ほど公民館とありましたが、清掃センターがもう既に移転してしまい要らなくなっているようです。これは周辺民間施設とか、そういうところが一体化して見直していただけたらな、という話です。

#### <発言14>

私は以前、市民憲章をテーマにしたタウンミーティングに参加しましたので、それを一つの解決策として取り上げます。

市民憲章には4つの文があり、その中の1つに「空も水も、草木も花も里山も、ともにある美しい都市を創ってゆきます」という文があります。今回のタウンミーティングで市民が集まる時や、地区の催し、学校の始業式などで、皆で読み上げる。そう、我々のまちはこうしていくのだ、と気持ちを一つにして、その方法を子どもたちにも考えさせていくのも良いのではないかなと思います。

#### <発言15>

市長にお願いしたいのですが、タウンミーティングに何回か出席させてもらって、いろいろ意見を述べているのですが、実際こういう温暖化等いろいろな問題があると思うので、

市で出前講座というのがありますよね。これを自治会などに少し下ろしていただいて、一般市民にももっと幅広くやっていただければよいなとつくづく思っているのです。結局ここだけで終わってしまうというか、それでは駄目だと思うのです。

結局さっき市長も言っていたように、市民が増えているわけですから、その市民たちに特に若い人、中学校、高校生でもよいですが、そういう人たちにもこの温暖化というものがわかるような説明、さっき市立の小中学校にあれを貼ると言っていました、いろいろな情報をもっとわかりやすく下ろしていただければよいのではないかなと思います。自分は何回か出席させてもらっているのですが、そういうのがあまりないので、出前講座は結構自治会でやっていますので、その辺に情報を提供していただければなとは思っています。

## ◆市長

### >> 発言11

工事をなるべく回数を減らして、協議会をつくってと。協議会は、実を言うとつくってはいて、なるべく集約してやるようにはしているのですが、どうしても皆さんにいろいろ御迷惑をかけている実態はあろうかと思えます。これは更に議論して、できるだけ、これも民間事業者が中心になると思えますし、また、水道も含めて一緒にできるかというのは別としても、なるべく工事を少なくするための取組ということも、これは重要な視点だと思います。

市がやっている様々な事業がありますので、それをもう温暖化対策であるとか、カーボンニュートラルだとか、いろいろな視点でもう1度、1個1個の事業をしっかり見ていくことは、多分いろいろな事業に含まれているのだらうと思えます。ですから、そこを少しでも工夫をしていくことで対応していきたいと思えます。ちなみに水道管については長期計画を立て、これを基に老朽管の耐震化工事等を進めていて、水道管の耐震化率は19大都市で1位の約53%となっていますので、今後も継続的にやっていきたいと思っています。

### >> 発言12

民間の視点で、特に特徴を生かした部分をより強化していったらよいのではないかという御意見をいただきました。皆さん御案内のとおり、一番大きな要素としては業務部門ですので、そこに特化といいますか、より重点的にということだらうと思えます。特に環境負荷の低減計画、これをもう少し広げていくべきだという御意見を頂戴しました。本当にそのとおりでと思います。特に業務系のところについてどう私たちがアプローチして、しっかり進めていくか、また対象を拡大していくのか、こういったことについても、もう少し強化していく必要があると思えます。

それから、促進地区について、これは少し目立つように、話題になるようにシンボリックにやったらどうかということで、夜間も外出禁止と、なかなかできることとできないことがあります、でも、これは、発信することもおっしゃったようにすごく重要な点だと思います。まだ発信し切れてないのかもしれないのですが、さいたま市では民間事業者と連携し、美園でやっているスマートホーム・コミュニティというモデル住宅街区を整備しまして、去年はアメリカの環境保護庁長官も見に来たり、日本の環境大臣も見に来たり、これから今度はマレーシアのクアラルンプールでも美園でやっているようなモデルを活用して、脱炭素の先行地区をつくりたいというような御要望があって、さいたま市もサポートをさせていただくことになっていますが、そういった取組などができるだけ話題になって、話題になることは、市民一人ひとりに伝わっていくという意味だらうと思っていますので、そういったことがしっかり市民一人ひとりに伝わるように、また対外的にも発信ができるように私たちももっともっと工夫をしていきたい。促進地区の活用ということについてはしっかり考えていきたいと思えます。

### >> 発言13

緑の保全の問題についてお話をいただきました。もちろんそのままというか、全く手を入れないで守っていくよりは、いろいろなしつかりと活用、手を入れながら守っていくところと、あと、どうしても減った部分については新たに創出をする部分、こういったものをしっかりバランスを取ってやっていくことが必要だなと思っています。特に今駅周辺のまちづくりを進めている中で、特に駅周辺については緑が少し少ないなという感じを持っていますので、そういったところでどうやって緑を創出していくか。なかなか採算性としては厳しい。事業性としては低くなってしまふことになるので、民間の地権者の皆さんからすると、難しい部分もあるのですが、さいたま市としてそれにどう関わり、どう誘導していくかということも含めてしっかり考えていきたいと思っています。

### >> 発言14

おっしゃるとおり、市民憲章が、多くの皆さんに参加いただいて出来上がりました。市民の日をつくりましたので、その前後等で学校等では市民憲章を学んでいただいています。市民憲章を、これから私たちがどう大切に活用していくかということは非常に重要な視点だと思います。地球温暖化対策についても、市民憲章に則って実施することが大切だと思いますので、そういったことについてもあわせて協議していきたいと思っています。

### >> 発言15

この場だけで終わらせないで、出前講座など様々な場所でそれをしっかり伝えていってほしいという御意見をいただきました。これは本当にそのとおりですので、出前講座については積極的にやっていきたいと思っています。出前講座もおかげさまで、今いろいろな分野、特に防災系が多いのですが、自治会、いろいろな団体からたくさんの御要望いただいて、職員が出向きながら、いろいろなお話をし、お伝えさせていただいています。これは身近にお話をする事で理解してもらえらることもあろうかと思っています。いずれにしても、そういった機会も増やすようにしていきたいと思っています。

時間が過ぎてしまいましたので、最後まとめてお話ししたいと思います。

本日は皆さんから大変貴重な御意見をたくさん頂戴しまして、ありがとうございます。皆さんからいただいた御意見をしっかりと受け止めながら、これからもカーボンニュートラル、これは先ほどもお話しましたが、吸収することも重要ですし、また、排出抑制をしていくということも必要です。これは両方どうしっかりとやっていくのかということについて、これから更に計画を改定する中で、しっかり検討を進めていきたいと思っていますし、緑の保全等については、更にまた充実させていく必要があると考えていますので、そういった点についても盛り込んでいければと思っています。

また、皆さんから本当にいろいろな具体的な御意見、提案を頂戴しました。そういったことについても全部お答えができていませんが、検討しながら、カーボンニュートラルについてはやれることを、とにかく1つでも多くやっていくことが重要だと思っていますので、そういったものを、市民の皆さんと事業者の皆さんと皆で自分ごととしてやっていく、そういった取組に変えられるように、私たちも取り組んでまいりたいと考えていますので、どうぞよろしく願いいたします。

最後になりますが、土曜日の午前中、皆さんには大変重要な時間帯にこうしてお越しをいただきましたことを重ねて御礼を申し上げたいと思います。

以上で見沼区のタウンミーティングを終わらせていただきたいと思います。また今後ともよろしく願いいたします。

## ■ 補足説明

### 「風力、水力、火力、再生可能エネルギーに対する優遇と研究」について

本市では、ゼロカーボンシティ実現のため、太陽光発電設備をはじめとした再生可能エネルギーの最大限の導入拡大を図ってまいります。そのため、再生可能エネルギーへの導入支援策や他都市との情報共有、都市間連携、国への要望等あらゆる施策を実行してまいります。

(環境局 環境共生部 脱炭素社会推進課)

### 「環境負荷低減計画の制度の強化」について

環境負荷低減計画制度は、環境への負荷が相当程度大きな事業所を義務付けており、それ以外の事業所においても任意での提出を促しております。制度発足後、10年以上経過し、改善の余地もあることから、多くの事業所が参加しやすい仕組みとなるよう改善を図っていきたくと考えております。

(環境局 環境共生部 脱炭素社会推進課)

### 「医療と、防災産業について力を入れるべき」について

各所管からの要求を基に、適切な査定を行ってまいります。

(財政局 財政部 財政課)

防衛費増額をめぐる国の動向については、概要を報道の範囲で承知しているところでございます。本市といたしましては、市内の地域医療提供体制に影響が出ないように、引き続き国の動向を注視してまいります。

(保健衛生局 保健部 地域医療課)

関係部局との連携を図りながら、引き続き防災対策を進めてまいります。

(総務局 危機管理部 防災課)